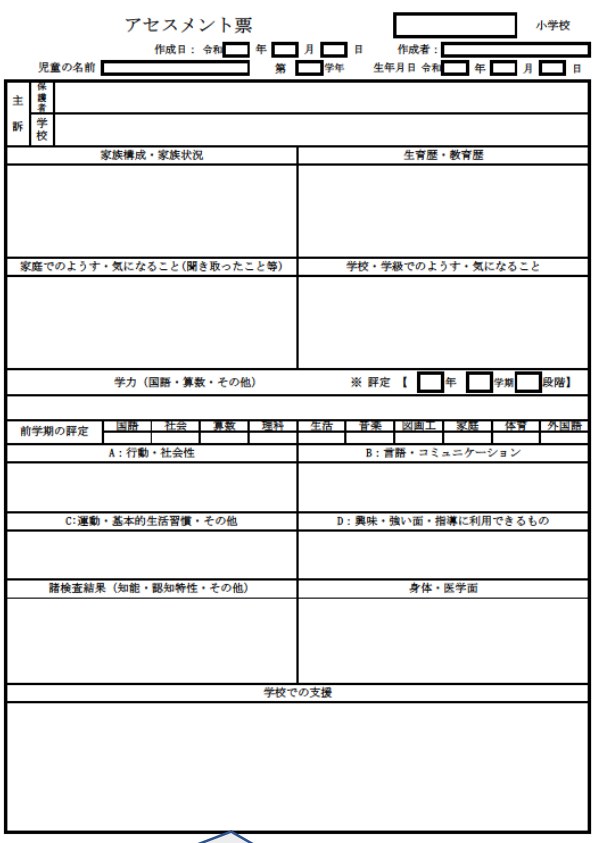
アセスメント票について

京都府こども発達支援センター すてっぷ と協議し、教育・医療で連携したアセスメント票を作成しました。

右側は医療の立場より、提供のあった「チェックリスト」であり、医療における学習障害や発達障害を判断する視点がよく分かり、各学校でも児童生徒を見る視点の参考になるものです。

また、在学している児童生徒が医療機関受診するときに学校での様子の提供を求められることもあると思いますが、医療と連携する際にも有効に活用できるものです。

ただ、これは必ず活用しなければならないものではありません。現在、使用しているものを継続して使用しても結構です。今後、新たに作成する場合や、ご覧いただき、使用できそうであると判断されたときに、ご利用いただければと思います。



アセスメント票　　小学校

作成日：令和　年　月　日　　作成者：

児童の名前　　第　学年　　生年月日 令和　年　月　日

主断	体調査	
	学校	

家族構成・家族状況	生育歴・教育歴

家庭でのようす・気になること(聞き取ったこと等)	学校・学級でのようす・気になること

学力（国語・算数・その他）　※ 評定 【　年　学期　段階】

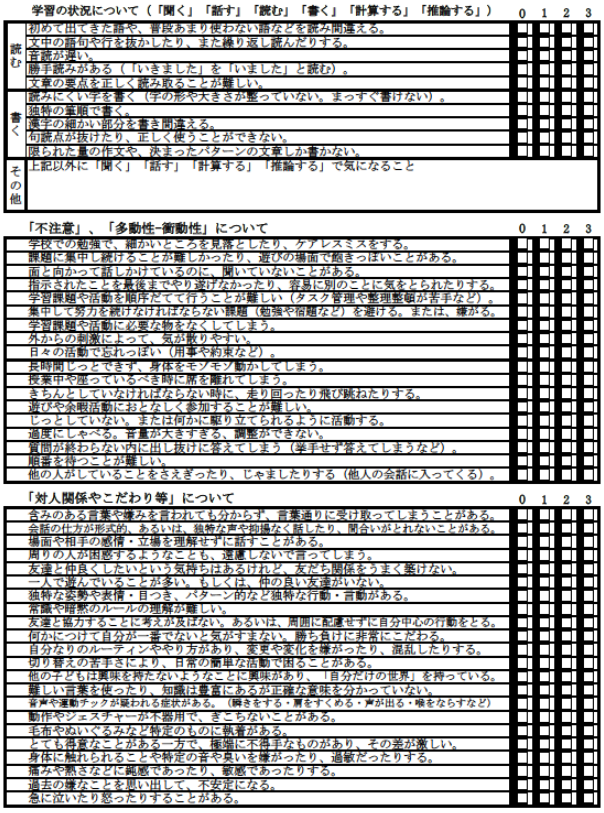
前学期の評定	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工	家庭	体育	外国語

A：行動・社会性	B：言語・コミュニケーション

C:運動・基本的生活習慣・その他	D：興味・強い面・指導に利用できるもの

諸検査結果（知能・認知特性・その他）	身体・医学面

学校での支援



学習の状況について（「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」）	0	1	2	3
読む：初めて出てきた語や、普段あまり使わない語などを読み間違える。				
読む：文中の語句や行を抜かしたり、また繰り返し読んだりする。				
読む：音読が遅い。				
読む：勝手読みがある（「いきました」を「いました」と読む）。				
読む：文章の要点を正しく読み取ることが難しい。				
書く：読みにくい字を書く（字の形や大きさが整っていない。まっすぐ書けない）。				
書く：独特の筆順で書く。				
書く：漢字の細かい部分を書き間違える。				
書く：句読点が抜けたり、正しく使うことができない。				
書く：限られた量の作文や、決まったパターンの文章しか書かない。				
その他：上記以外に「聞く」「話す」「計算する」「推論する」で気になること				

「不注意」、「多動性-衝動性」について	0	1	2	3
学校での勉強で、細かいところを見落としたり、ケアレスミスをする。				
課題に集中し続けることが難しかったり、遊びの場面で飽きっぽいことがある。				
面と向かって話しかけているのに、聞いていないことがある。				
指示されたことを最後までやり遂げなかったり、容易に別のことに気をとられたりする。				
学習課題や活動を順序だてて行うことが難しい（タスク管理や整理整頓が苦手など）。				
集中して努力を続けなければならない課題（勉強や宿題など）を避ける。または、嫌がる。				
学習課題や活動に必要な物をなくしてしまう。				
外からの刺激によって、気が散りやすい。				
日々の活動で忘れっぽい（用事や約束など）。				
長時間じっとできず、身体をモゾモゾ動かしてしまう。				
授業中や座っているべき時に席を離れてしまう。				
きちんとしていなければならない時に、走り回ったり飛び跳ねたりする。				
遊びや余暇活動におとなしく参加することが難しい。				
じっとしていない、または何かに駆り立てられるように活動する。				
過度にしゃべる。音量が大きすぎる、調整ができない。				
質問が終わらない内に出し抜けに答えてしまう（挙手せず答えてしまうなど）。				
順番を待つことが難しい。				
他の人がしていることをさえぎったり、じゃましたりする（他人の会話に入ってくる）。				

「対人関係やこだわり等」について	0	1	2	3
含みのある言葉や嫌みを言われても分からず、言葉通りに受け取ってしまうことがある。				
会話の仕方が形式的、あるいは、独特な声や抑揚なく話したり、間合いがとれないことがある。				
場面や相手の感情・立場を理解せずに話すことがある。				
周りの人が困惑するようなことも、遠慮しないで言ってしまう。				
友達と仲良くしたいという気持ちはあるけれど、友だち関係をうまく築けない。				
一人で遊んでいることが多い。もしくは、仲の良い友達がいない。				
独特な姿勢や表情・目つき、パターン的など独特な行動・言動がある。				
常識や暗黙のルールの理解が難しい。				
友達と協力することに考えが及ばない。あるいは、周囲に配慮せずに自分中心の行動をとる。				
何かにつけて自分が一番でないと気がすまない。勝ち負けに非常にこだわる。				
自分なりのルーティンややり方があり、変更や変化を嫌がったり、混乱したりする。				
切り替えの苦手さにより、日常の簡単な活動で困ることがある。				
他の子どもは興味を持たないようなことに興味があり、「自分だけの世界」を持っている。				
難しい言葉を使ったり、知識は豊富にあるが正確な意味を分かっていない。				
音声や運動チックが疑われる症状がある。（瞬きをする・肩をすくめる・声が出る・喉をならすなど）				
動作やジェスチャーが不器用で、きこちないことがある。				
毛布やぬいぐるみなど特定のものに執着がある。				
とても得意なことがある一方で、極端に不得手なものがあり、その差が激しい。				
身体に触れられることや特定の音や臭いを嫌がったり、過敏だったりする。				
痛みや熱さなどに鈍感であったり、敏感であったりする。				
過去の嫌なことを思い出して、不安定になる。				
急に泣いたり怒ったりすることがある。				

従来のものをもとに作成しています。右のチェックリスト以外に気になる特性について記入します。

チェックリストをもとに作成しています。LDやASD、ADHDなどの特性をチェックします。